

▶日本カンボジア友好 65 周年記念事業認定

日本カンボジア友好 65 周年記念事業として、当法人の 3 事業が認定を受けました。平成 30 年 8 月 26 日～9 月 17 日に「医療衛生・美術・音楽支援」が行われました。約 1 ヶ月におよぶ総勢 17 名の学生による支援でした。金沢大学・金沢美術工芸大学・名古屋音楽大学・愛知県立大学の学生たちが参加して実施されました。今回は初めてのカンボジア訪問の学生も多

く、とても中身のある支援を行うことが出来ました。テチョウ小学校は夏休みだったにもかかわらず、低学年は 1 年生から 6 年生までたくさんの参加をしていただきました。とても暑い日差しの中でしたが、みんな元気に交流をして無事に事故も怪我もなく終わることが出来ました。たくさんのご寄付を頂き、本当に心から御礼申し上げます。



▶ノートパソコン寄贈



今年度は室島理事より 1 台を含め、合計 11 台のノートパソコンをカンボジア政府プレアヴィヒア・オーソリティーへ寄付いたしました。これは支援センター「むく」さんより寄贈頂きました。機関には予算が少ないので、政府職員が仕事で使うパソコンもないため支援をしています。職員のみなさんは今回の支援を大変喜びお礼を頂きました。

プレアヴィヒア・オーソリティーの観光部の職員さん達は、ユネスコの ICC 会議や世界遺産の管理など、様々な仕事をしています。世界遺産には日本人が年間 1 万人近く訪れています。現場の仕事に少しでも役立つように、支援を継続していきます。

中古ノートパソコン募集中

私たちはカンボジアのプレアヴィヒア州にある官公庁や学校教育、就労支援のために中古パソコン支援をしています。多くのご応募をお待ちしておりますので、ご協力よろしくお願いします。

条件

- ・ノートパソコンであること。
- ・WindowsOSがインストールされたもの。
- ・事務やインターネット作業ができるもの。

お問い合わせ先

pvpvpasia@gmail.com

▶モノづくり学校事業

エコパークで陶芸の窯を現地の農民にお願いして作り上げることができました。なかなか理解をしてもらえない中、政府の職員がケアしてくれたことで完成しました。すべて土だけで作った、とても原始的な窯です。少しずつ現地の人たちが、陶芸に興味を持っていたるように私たちは、真摯に向き合って取り組んでいます。しかし雨季で雨の量がひどく窯の上にあった屋根が倒壊してしまいました。3ヶ月かかって、ようやく新しい屋根を作り上げることが出来ました。



▶世界遺産 10 周年記念

7月に世界遺産認定10周年記念式典がありました。

石川県から東龍理事長、カネマツ鋼材今井専務、新日本ツーリスト堅田社長、戸田武正会員が日本代表として来賓として参列いたしました。



▶現地情報

国内移動事情

シェアタクシー、バス、飛行機など様々な移動手段がありますが、安全から言うと飛行機、料金の高いバスやタクシーなどがいいと思われます。免許を持たないドライバーも多いため、国道での事故が多いのも現状です。125cc以下のバイクは免許不要のため、子供たちも自由に乗っています。道を横断するときは、日本よりもよく注意して渡ってください。信号機もありますが、成り行きで赤でも進むバイクも車もあります。しかし、以前より反対車線を走ることは少なくなりました。



デング熱について

やはりアジアの蚊は刺されたら一大事です。日本と同じように考えてたら大変なことになります。死亡するケースもありますが、事前に予防をしてれば多少は違います。都市部は下水施設が芳しくないために、毒性をもった蚊が多く、田舎も水がよどんでいるところは、要注意です。熱や体がだるくなったら、すぐに病院へ行くようにしてください。プノンペンには、日本人医者も多くおり、医療設備も完備されています。「備えあれば憂いなし」は、このアジアでは必須です。

▶クメール語講座

チガン=美味しい

カンボジアはほぼ100%オーガニックの食材を使っており、調味料も、日本と同じような醤油や大豆の発酵食品などを使っています。男性も女性も料理は得意な人が多く、家庭料理をごちそうになる機会や偶然出会った人でも一緒に食事をしようと言ってくれとが少なくありません。その時に「チガン」といえば、笑顔で喜んでくれます。どのお店でもそうですし、お菓子、コーヒーなどすべての共通語です。是非、カンボジアに来て何かをごちそうになったときに「チガン」を言えば、会話が弾むと思います。



▶プレアヴィヒア情報

道の整備やいろんな施設の整備は、少しずつ始まっています。村人の生活も以前よりはよくなっています。ただし若者が新しい日本製の流行りのバイクに乗って飛ばしていることが多いので、小さな事故も増えています。またたくさん赤ちゃんも生まれているので、村は鳴き声や子供たちがはしゃぐシーンが多くみられます。携帯電話もつながりやすいエリアが増えてきています。ただしレストランは新しく出来たり、お店を辞めるところも多いです。

▶プレアヴィヒアツアー

私たちの団体は現地スタッフが在中しておりますので、遺跡だけではなく、支援学校や農民の住んでいるエリアなどをご案内することができます。たとえば一般の家庭料理を食べたり料理教室なども体験することが可能です。

クイ族という原始的な民族が住んでいたりと、とても一日ではまわり切れない魅力のある州です。州の面積は四国ほどの大きさであるので、時間をかけて自然を満喫することをお勧めいたします。もし何かご質問があれば、遠慮なくご連絡ください。



▶理事紹介

佐々木隆一

一般社団法人 著作権情報集中処理機構 理事長

私はヤマハ音楽振興会を経てリットミュージックを創業したあと、日本最初の音楽配信会社 MUSIC CO JP を創業、電子出版流通の Mobilebook.jp の創業と常に新しいことに挑戦してきました。

東龍さんも、いつも最も困難な課題をしかも身体一つで飛び込んで、大きな想像力と神聖な魂で、全力で取り組む！その破天荒な活動力は私にはとてもよく理解できます。私も年齢が若ければその厳しい姿勢に学びたい気持ちでいっぱい입니다。いまは東龍さんをしっかり励ますこと位しかできませんが、全面的に応援させていただきます。



NPO 法人世界遺産プレアヴィヒア・モノづくりの会

石川県金沢市藤江北1丁目418 ハイウェステリア 103
Tel: 076-256-5074 e-mail: pvvpasia@gmail.com

<http://www.pvvp.asia/pv/>